

大津町小中学校文化祭音楽会が行われました。



11月26日（火）大津町生涯学習センターで行われました。本校からは、1年生から4年生の29名で参加。合奏と合唱を披露しました。

当日は、楽器の運搬に保護者の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

子どもたちの演奏や合唱は、とても上手でした。何より、一生懸命に取り組む姿がすばらしく、その様子が会場にもよく伝わり、感動を与えていました。

合奏曲は、「空を見上げて」で、合唱曲は、「ドレミの歌」でした。

1年生から4年生までの全員が一つになって取り組めました。合唱曲の伴奏には、小西悦子様にお世話になりました。ありがとうございました。

講評をされた赤星誠司先生からは、立派な態度をほめられた上で、参加者全員に対して、暗譜の大切さと息継ぎをする場所を大切に、ことばをしっかり伝えることの大切さを指導していただきました。



ハンドボールを体験しています。



体育の時間に、ハンドボールを行いました。シュートやパスの仕方を説明して、シュートの練習などを行いました。

今、熊本でハンドボール女子の世界大会も行われています。本校も12月13日（金）に見学に行くことになっています。世界代表のプレーも見て、スポーツの良さを学んできます。

12月度 全校集会を行いました。

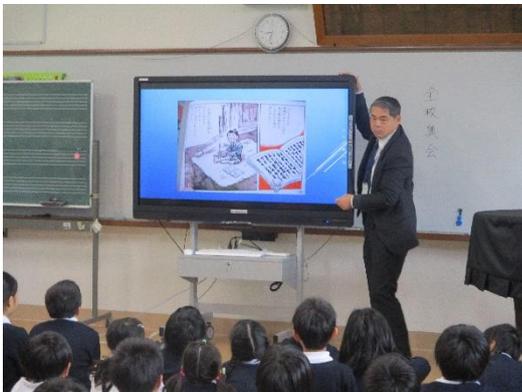


12月3日（火）の朝、全校集会を行いました。
今回の全校集会では、キャリア教育の一環として、本校の校門に石像が2体ある二宮金次郎に焦点を当て、二宮金次郎の生き方に学びました。

金次郎は、今から230年ほど前の江戸時代の生まれ。天明という時代に生きた人です。13歳で父を15歳で母を病気で亡くし、父の兄に引き取られます。

当時、災害や飢饉で自分の家の田畑をなくしますが金次郎は、幼くして働きながら必死で学び、田畑をとりもどします。その姿を見た服部家に、借金を抱えた服部家の復興を頼まれ、見事に復興させます。次に桜町にも依頼され、桜町の復興も成し遂げます。

子どもたちに、「金次郎さんが田畑をとりもどすことができたのはどうしてだと思いますか?」と尋ねたところ、「働きながらも必死で勉強したから。」と、



子どもの声。金次郎は、働いて得たお金を、田畑を失った人に貸して、田畑の復興の仕方を教えながら、多くの人たちを救いました。最後に、二宮金次郎に学んだことを子どもたちに尋ねました。子どもたちは、真剣に考えることができていました。

「きついことがあっても逃げずに働き、勉強すること。」「勉強すれば、できなかったことができるようになること。」「勉強を頑張って、自分もまわりの人も幸せにすること。」を学びました。

人権学習コーナー

12/7に大津町生涯学習センターで、「人権を考えるみんなのつどい」が行われました。人権講演会では、人権劇団光座が「焰」という人権劇を公演されました。



当日の人権講演会では、教科書無償を勝ち取るまでの闘いを劇で公演していただきました。部落解放運動に取り組む、高知県の小さな漁村の実話をもとにされた人権劇でした。



子どもたちが、将来に夢や希望を持てるために、一人ももれなく安心して学べるための教科書無償。その熱い思いと真剣な運動。そのおかげで教科書は無償に。感銘深い劇でした。